



みのぶ



稲刈り作業 石川 清隆さん（美唄市光珠内北、9月15日）

■発行日/平成29年10月1日/No.1386号

■発行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社



記念品を受け取る田中良典さん



**玄米ばら集出荷調製施設で
新米搬入始まる**

J A管内の稻刈り作業は早い方で9月11日頃から始まり、玄米ばら集出荷調製施設は前年より3日早い9月15日から受入を始めました。施設の搬入一番乗りは、光珠内北の田中良典さんで「ゆめぴりか」2487kgを搬入しました。田中さんは本年産米の搬入一番乗りを記念して森川組会長から記念品が贈呈されました。

玄米ばら集出荷調製施設

(臨) ☎ 0126-62-2275

(臨) FAX 0126-62-2276

J A 営農販売課

☎ 0126-67-2334

**金融店舗に来店の皆さんに
花をプレゼント**

おくやみ申し上げます

9月1日、金融店舗にご来店のお客様にもれなく花をプレゼントしました。プレゼントした花は当JA管内で生産されたトルコギキョウで、色は白、ピンク、紫など3本を束ね、50人分余りを用意し全て差し上げることができました。職員がプレゼントの花を差し出すと受け取ったお客様は思わず笑みがこぼれていきました。

これは、JAファンの拡大を図ろうと空知管内JAの統一の取組みで実施したものです。

JA管内の稻刈り作業は早い方で9月11日頃から始まり、玄米ばら集出荷調製施設は前年より3日早い9月15日から受入を始めました。施設の搬入一番乗りは、光珠内北の田中良典さんで「ゆめぴりか」2487kgを搬入しました。田中さんは本年産米の搬入一番乗りを記念して森川組会長から記念品が贈呈されました。

-報徳-

わが道は全樂の道

伊藤 重俊さん (85歳) 9月24日 岩見沢市北村中小屋3892番地 大内己代治さん (88歳) 9月24日 岩見沢市大願町640番地

翁のことばに、世界のうちで法則とすべきものは、天地の道と、親子の道と、夫婦の道と、農業の道との四つだ。これらの道はまことに両全のもの、完全なものであつて、すべてのことは、この四つを手本とすれば間違いない。私が「おのが子を恵む心を法とせば、学ばずとも、道に至らん」とよんだのは、この意味なのだ。どうしてかといえば、天が生命の根元の徳をくだけば、地はこれを受けて万物を発生させる。親は子を育てるのに損得を忘れて、ひたすらその成長を楽しむし、子は育てられて父母を慕う。夫婦の間でもお互いに楽しみあつて子孫が相続する。農夫は勤労して植物の繁栄を楽しみ、草木はまたよろこんで繁茂する。みんな、ともどもに苦情がなくて、喜悦の情ばかりなのだ。さてそこで、この道に法るならば、商売の

しかたは、売つて喜び買つて喜ぶようにするべきだ。売つて喜び買って喜ばないのは道ではない。買つて喜ばないのも道ではない。また、賃借の道も同様に、借りて喜び貸して喜ぶようになるべきだ。借りて喜び貸して喜ばないのは道ではないし、貸して喜び借りて喜ばないのも道ではない。借りて喜ばないのも道ではない。百事すべてそうなのだ。

わが教えはこれを法としている。つまり、天地が万物を生々発展させることを心とし、親子と夫婦との情にもとづいて、損得を度外に置いて国民の潤沢助長と土地の復興とを楽しむのであって、そうでなければできない仕事なのだ。

(中略)

およその事は、なりゆくべき先を見越して、前もつて決めておくことが肝心だ。人は生まれれば必ず死ぬべきものだ。死ぬべきものだということを前に思い定めておけば、生きているだけ日々に儲けただ。これがわが道の悟りなのだ。生まれたからには、死のあることを忘れるでない。夜が明けたら、暮れるとということを忘れるでない。

相続講習会開催

8月25日、JA三階会議室で相続講習会を開催しました。講師は岩見沢市内で司法書士事務所を開業している林俊豪司法書士、12人の組合員の皆さんが参加しました。この講習会は、誰にも起こり得る相続について円滑な資産承継ができるようになると当JAが企画し開催したものです。

林司法書士から相続の基礎知識について資料を使い詳しく解説されました。



講師の林 俊豪司法書士



伊藤専務理事、宮越英治組合長の説明を受ける松野市長



雑草取りを終えて

岩見沢市長が
岩峰ライスセンターに視察來訪

9月21日、松野哲岩見沢市長一行が岩見沢市峰延町にある岩峰地区取穫機械施設利用組合（岩峰ライスセンター）を米取穫作業の視察に訪れました。

9月22日、JA役員OBで構成する協栄会が小林篤一翁顕彰公園の雑草取りを行いました。公園の雑草取りは6月15日に続いて本年2回目となります。

小林篤一翁顕彰公園の
雑草取り行

松野岩見沢市長は、安全な作業と高品質米がたくさん出荷されると願っていますと述べました。

松野岩見沢市長は、雨天が多いためぬかる圃場で稼働するコンバインの刈り取り状況を視察、当JA伊藤専務理事と宮越英治組合長が対応し稻刈りの進捗状況、作況台風18号や前日の大雨の影響等を聞いていました。

『我が家の記録』(3年営農日誌)の購入希望取りまとめのご案内

農作業はもとより天候・気温や家庭の出来事等の記録を1冊に3年分を連記することが出来る『我が家の記録(3年営農日誌)』(平成30年～平成32年)の購入希望取りまとめを実施いたします。

ご希望の方は是非この機会にお買い求めくださいますようご案内いたします。

- 1.仕様 … B5版上製本270頁、附表(固定資産台帳、輪作実施(計画)表、慶弔費用、度量衡換算表、電報文例、冠婚葬祭贈答の心得、年齢早見表、メモ帳、住所録、3年分カレンダー、農作業・行動予定(実施)表、営農計画表・実績表)

2.価格 … 1冊1,620円(消費税込)

3.申込先 … 総務課

4.申込方法 … 電話(総務課:67-2111)又はファックス(67-2793)で、氏名・冊数・支払方法をお知らせください。

5.申込期日 … 平成29年10月31日(火)

6.お渡し日 … 平成29年12月中旬

(TA 3-3 do ② 俗語)

当初13日に実施する予定でしたが、雨天が多く2度延期しました。

**J Aみねのぶ祭
(第27回農産物消費者交流会)
開催する**

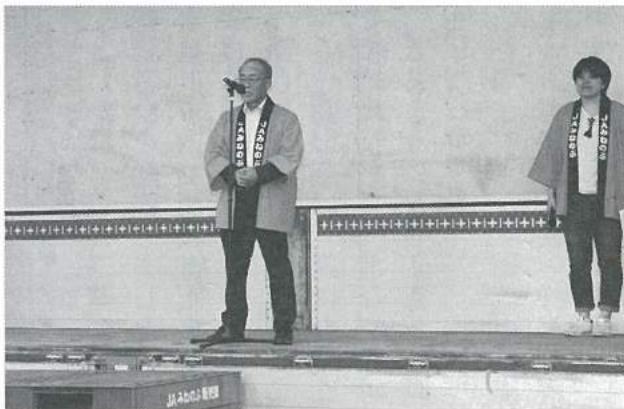
8月27日(日)、毎年恒例のJ

Aみねのぶ祭(農産物消費者交流会)が峰樺3区にある農産物検査場所で開催されました。この交流会はJAみねのぶのPRと生産者と消費者との交流の場にしようと開催を続け今年が27回目になります。

来場者はハスカッピ狩りに訪れた消費者の皆さんに開催案内を郵送した他、JA組合員の皆さんにはファックスで周知し多くの方々が訪れていました。

森川組合長は開会挨拶の中で、本日の来場と峰延を愛して下さるお礼を述べ、「予報に反して今は雨が降っていますが、この後は晴れの予報です。趣向を凝らしたイベントをたくさん用意しているので来場者全員の方に最後まで楽しんでいただきたい。」と述べました。

各店舗のオープンは午前10時5分、朝取り野菜生産者の会の新鮮野菜、こだわり南瓜生産者の会のホクホク南瓜、峰延ハスカッピ生産組合のジャム等の加工品、菜宝箱の落花生加工品、峰延手打ちそば愛好会の手打ちそば、プチBO



開会の挨拶を述べる森川組合長



新鮮野菜等の即売は大盛況



野菜詰め放題は大人気

この日は開会当初は雨が降りました。来場した皆さんは最初に地場農産物等を買おうと各店に殺到し、その後はゆっくりと焼鳥やとり飯、そば、ビール等を楽しんでいました。

飛ぶように売っていました。先着550名限定のとりめしと手打ちそばの試食コーナーでは長い列にならないよう番号を区切つて渡していましたが、裏方の女性部と峰延手打ちそば愛好会の皆さんには早朝から汗だくで仕込みに追われていました。

スケジュールに沿って工夫を凝らしたイベントが次々と行われ、500円野菜詰め放題・枝豆しばりでは、開始前の受付に200人ほどの行列ができ、玉ねぎが一番人気で最初に無くなり、開始後20



とりめし、手打ちそばの試食コーナー



「かぼちゃころがし」でストライク！

分足らずで用意した玉葱、ジャガイモ、枝豆は無くなってしましました。小学生以下の子供を対象にしたカボチャをボールに見立て転がしてペットボトルのピンを倒すボーリングでは大勢の子供が参加し高得点を出した方には景品が渡されました。

近隣のJA青年部対抗綱引き大会では、当JA青年部、美唄市、いわみざわ、そらち南、月形町、ながぬまの他に当JA職員チームが加わり全7チームで予選を行いました。時間を空けて行つた決勝戦は当JAとながぬま、見事優勝したのは当JAで賞金が手渡されました。



「ヨーヨー釣り」は子どもたちに人気

農産物重さ当てゲームでは、ダンボール入の野菜詰合せやネット入の玉ねぎ、袋入のとうもろこしを5人ずつ持つてみて感じた重量を画用紙に書き実測後、一番近い方にその野菜が当たるゲームで大人に混じつて子供も出場し近い重量を出したお子さんもいました。

毎年一番盛り上がる大bingo大会では、「ダイソンホットアンドクール」「ソニー・プレイステーション4」「レイコップふとんクリーナー」「ネスルコーヒーマシン」「白老牛A4ステーキ用ロー



青年部対抗綱引き大会(写真は当JA青年部)

ス肉」「パナソニックナノケアドライヤー」「象印圧力IH炊飯ジャー」等の人気の豪華景品が用意され、来場者の皆さんビンゴ券を手に番号を聞き逃さないように耳に全神経を集中し、番号が発表される度にざわめきが起きていました。続いて行われた抽選会も豪華な景品が用意され、安達常務理事が引く当たり番号に期待が外れた落胆の声が繰り返しいました。

J A組合員の皆さんも多く来場しました。綱引きが始まると会場の皆さんは迫力のある熱戦に見入っていました。

J A組合員の皆さんも多く来場し、米収穫前の晩夏のひと時を過ごしていました。閉会は、伊藤専務が来場のお礼と来年もお待ちしていますと述べ午後3時半に閉会しました。



閉会の挨拶を述べる伊藤専務理事



大bingo大会で豪華景品ゲット

-食育-
**峰延小・南美唄小が
合同で稲刈り体験行う**



鎌の使い方が慣れてきました



稻束の縛り方を教える三浦青年部長

9月25日、JA青年部（三浦泰来部長）が中心になり食育事業の一環として、峰延小学校と南美唄小学校の2校合同で、稲刈り・はさ掛け作業体験が行われました。参加した児童は2校合わせて23名（うち峰延小学校は5年生と6年生で8名）で、指導役としてJAの青年部4名、女性部1名が参加しました。圃場は沼田勝美（拓北）さんの圃場で5月26日に田植體驗で児童が植えた「きたくり

ん」、青年部員と女性部員が稲刈り作業、稻を束ねる作業、ハサ掛け作業を指導しました。最初に三浦青年部長が鎌の使い方を説明、危険な鎌を使って慣れないと繰り返し述べています。

児童たちは緊張した面持ちで鎌を使つていました。稻束を作る作業はコツが必要なため、児童たちは青年部員や女性部員に繰り返し習つっていました。稲刈り体验が終わつた後に、沼田昌樹さんがコンバインで稲刈りを行い、児童たち

は目の前の大機械の迫力に圧倒されていました。体验授業が終わつて両校の代表が指導役の青年部・女性部の皆さんにお礼を述べ、感想では稲刈りは慣れると楽しかったが、稻束の縛り方が難しいと述べていました。



コンバインの迫力に圧倒

-食育-

「お米を知る」稲刈り体验

**コープさつぽろ組合員親子が
「お米を知る」稲刈り体验**

9月24日、コープさつぽろ組合員親子による稲刈り作業体验が行われました。稲刈りは、5月に峰樺3区の圃場に田植え体验で植えた「ふつくりんこ」。参加したのは、コープさつぽろ組合員の5組の親子15人の皆さんで、JA青年

員親子による稲刈り作業体验が行われました。稲刈りは、5月に峰樺3区の圃場に田植え体验で植えた「ふつくりんこ」。参加したのは、コープさつぽろ組合員の5組の親子15人の皆さんで、JA青年

員親子による稲刈り作業体验が行われました。稲刈りは、5月に峰樺3区の圃場に田植え体验で植えた「ふつくりんこ」。参加したのは、コープさつぽろ組合員の5組の親子15人の皆さんで、JA青年

員親子による稲刈り作業体验が行われました。稲刈りは、5月に峰樺3区の圃場に田植え体验で植えた「ふつくりんこ」。参加したのは、コープさつぽろ組合員の5組の親子15人の皆さんで、JA青年



稲刈り体验の参加者全員で集合写真



JAビル外壁に
街頭時計を設置
9月上旬に当JAの外壁に街頭時計を設置しました。ヤバ洋品店横に設置してあつた街頭時計が無くなり不便でJAに設置して欲しいと要望を受け設置したものです。



親子で稲刈り

【連載】今こそJA!～その意義と役割～

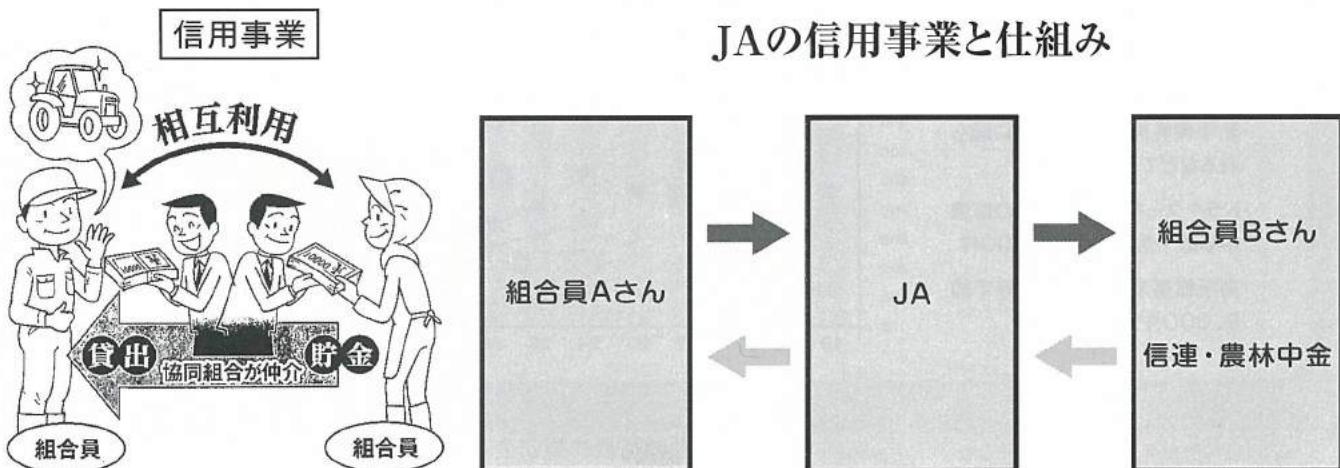
第6回 JAの信用事業

JA事業の核ともいわれる信用事業は、どのような理念で成り立っているのでしょうか?大辞泉によると信用とは「確かなものと信じて受け入れること」とありますが、この信用という言葉は事業を進める上で大きな意味を持っています。

JAは預金を集めたり貸出を行うなど、広義での金融事業を行っていますが、一般の銀行とは異なる概念で事業を展開しています。まず、組合員が資金を貯金としてJAに預け、その貯金を原資としてJAが組合員に貸し出します。JAは組合員同士が必要な資金を相互利用することを仲介する形となり、このことを「相互金融」と呼んでいます。

また、北海道独自の仕組みとして「くみかん制度」があります。営農計画書に基づきながら生産資材や家計費の支出を行い、農産物を収穫した後、年度末に精算するという仕組みは対人信用を基本としたものとなっています。

JAの信用事業も一般の市中銀行と同様に政府の金融規制の枠組みにあります。JAには他の金融機関にはない信用力を補完するためのセーフティネットの仕組みがあります。これは、全ての金融機関が加入している貯金者保護のための保険制度(元本1000万円とその利息を保護する公的な仕組み)の他に、中央会や信連がJAの信用事業を日頃よりチェックし、さらに全国のJAが資金を拠出してJAの信用事業の破綻を未然に防止するための基金を設けています。このようにJAの信用事業には二重の安心が設けられているのです。



農作業事故の実態(最新版)

平成28年度 農作業事故報告書より

北海道における農作業事故件数は、ほぼ減少傾向が継続しておりますが、農業就業人口(2015年センサス)の大幅な減少を勘案すると、事故発生率が高まる傾向が依然として続いております。

特に、負傷では、60歳代以上の年齢層や女性農業者の事故率が依然として高い水準で推移しています。農業就業人口の激減の中にあって、女性農業者の事故が減少しない理由は、野菜選別集出荷作業が高齢者、特に女性農業者に大きな負担となって、事故につながっていると推測されます。

農作業事故による犠牲者をこれ以上増やさないためには、農業者一人一人が安全に対する意識を強くもって、各ルールを遵守し、事故防止に取り組むことが何よりも大切です。

関係者の方々のなお一層のご協力を期待致します。

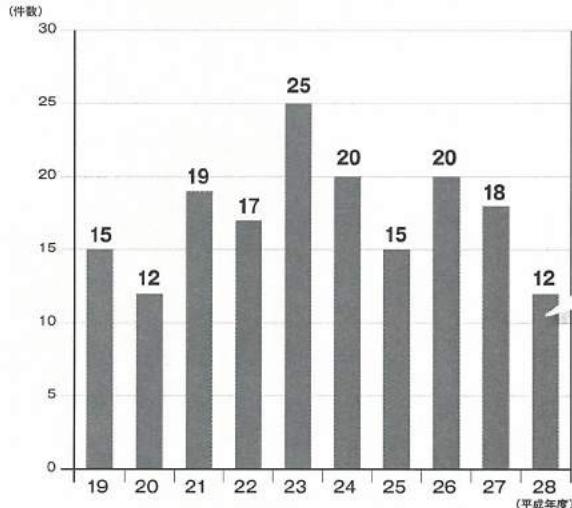


農作業・死亡事故の推移 (H19~H28年)

過去10年間において農作業による死亡事故は、合計173名の方が亡くなられております。

内訳は、

- 50才代 32件
- 60才代 53件
- 70才代以上 63件
- と、働き盛りの方々が体勢を占めている現状です



主な事故要因(H28)

農用トラクター

- 転倒・転落 — 5/12件
- はざまれ — 1/12件
- 下敷き — 1/12件

作業機

- はざまれ — 1/12件

動力運搬機

- 転倒・転落 — 1/12件
- ひかれ — 1/12件

その他

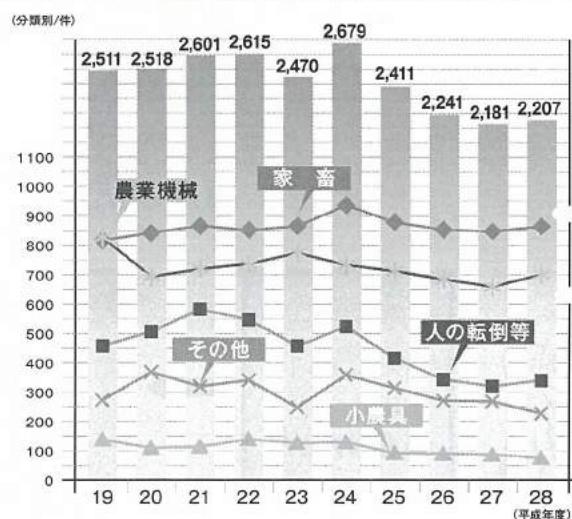
- 熱中症 — 1/12件
- 転落 — 1/12件

農作業・負傷事故の推移 (H19~H28年)

過去10年間において農作業による負傷事故は、合計24,000件以上発生しております。

主な負傷原因は、

- ・乳牛搾乳時や移動の際に蹴られるなどで8,000件
- ・トラクター等機械がらみの整備中事故や落下などで7,000件
- ・高所転落及び転倒事故等で約9,000件発生



准組合員について学ぶ(全4回シリーズ 第2回)

准組合員の利用規制を導入するか否か、農水省は平成33年3月末までに結論を出す予定にあります。この規制が利用者である准組合員や地域の農業や経済に与える影響を考えてみましょう。

【第2回】地域の農業をともに支える准組合



生徒

准組合員制度が生まれた歴史はわかつたけど、JAの事業にはどういつものがあるのかな?たくさんあるって聞いたよ。



先生

JAには、販売(農畜産物の選果・出荷・代金精算)、営農指導(農業経営・農業技術サポート)等、農業に直接関係する事業はもちろん、生活面でのサポートも含めた幅広い事業を展開しているよ。



生徒

正組合員(農業者)を支援する組織だから、農業のイメージは沸くけど、准組合員の人たちはどんな事業を利用しているの?



先生

JAバンクやJA共済でおなじみの信用(貯金、各種ローン)、共済(ひと、いえ、くるまの保障)事業や、生活(Aコープ(スーパー)、ガソリンスタンド運営)事業もあって、地域の皆さん的生活を幅広く支えているのよ。



生徒

農業者でなくても利用できる事業がたくさんあるんだね。
准組合員になると、どんなメリットがあるの?



先生

ポイントサービスや優遇金利もメリットだけど、准組合員がJAを利用することで、農業振興や地域の発展にも繋がっているのよ。

皆が色々な事業を利用することで、それぞれの事業ボリュームが大きくなれば、効率的な事業運営ができるから、販売事業や農業者への営農指導に、より力を入れることができるのよ。この循環で地域の農畜産物の生産も充実するから、例えば野菜選果場での雇用も生まれるし、皆の事業利用が巡って地域の発展にも繋がっているわ。



生徒

そつかあ。准組合員の利用が規制されちゃうと、私たちの生活だけでなく、地域の農業や経済にも悪影響が出ちゃうんだね。

JAグループ通信

No.15

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
 JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、
 組合員の皆様に定期的にお伝えします。
 各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



【1万ダウンロード突破】
 JAグループ北海道が取り組む「サポートづくり」の一環として制作した、スマートフォンアプリ「JA2MP（ジェイエイジヤンブ）」のダウンロード開始から約1年が経過しました。各地でのPR活動を通じて皆さんにダウンロードして頂いた結果として、平成29年8月に、1万ダウンロードを突破しました。今後も、魅力ある新鮮かつタイムリーな農畜産物情報と消費者の皆さまへのPRを取り組んで参ります。



J A 北海道中央会



J A バンクでは、青少年の育成支援とスポーツ応援を目的として、平成21年度より全日本大学駅伝対校選手権大会へ特別協賛を行っています。8月に札幌市のモエレ沼公園で行われた北海道地区予選会には、地元JA・本会・農林中央金庫の職員が大会のサポート役として参加し、道産食材を使用した「おにぎり」「飲むヨーグルト」とび「JAバンクオリジナルタオル」を選手達へ差入れしました。

J A バンクでは、青少年の育成支援とスポーツ応援を目的として、平成21年度より全日本大学駅伝対校選手権大会へ特別協賛を行っています。8月に札幌市のモエレ沼公園で行われた北海道地区予選会には、地元JA・本会・農林中央金庫の職員が大会のサポート役として参加し、道産食材を使用した「おにぎり」「飲むヨーグルト」とび「JAバンクオリジナルタオル」を選手達へ差入れしました。



J A 北海道信連



ホクレン訓子府実証農場（訓子府町）では、来年4月から1年間、農場での酪農研修を通じて就業に必要な知識や技能を習得する「平成30年度酪農研修生」を募集しています。研修は乳牛飼養管理、搾乳、子牛哺乳育成、自給飼料栽培管理などの実践研修を中心に、酪農畜産に関する基礎知識を習得するための座学研修も実施します。詳しい内容については、ホクレン訓子府実証農場業務課（☎0157-47-21911）まで。



ホクレン



↑訓子府
実証農場
HPはコチラ

J A 共済連北海道



秋の全国交通安全運動（9月21日）にあわせて、道警・交通安全協会と連携し、道内各地で本会職員による街頭啓発活動を展開します。交通安全旗や横断幕を掲げてドライバーと歩行者へ安全運転や交通ルールの遵守を呼びかけます。（札幌地区は9月29日実施予定）

J A 共済連北海道は交通安全啓発活動を通じて安心して暮らせる地域づくりに役職員一同取組んでまいります。



J A 北海道厚生連



旭川厚生病院では”土曜ドック”を実施しています。男性を対象としており、各種オプション検査も可能です。随時予約を受け付けております。（☎0166-33-7171）

札幌厚生病院では毎月第2土曜日に”臓・胆のうドック”を実施しております。

また、帯広厚生病院では、オプション検査の”脳ドック”を毎月第2土曜日に実施しております。

いずれも完全予約制。（☎0155-24-4161）